

Qちゃん
市内に住む小学生



キュー

Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー

つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大主任教授



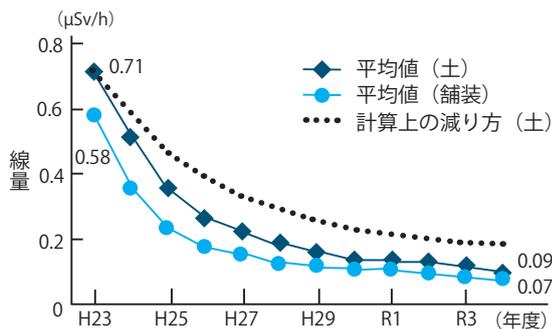
令和4年度のメッシュ調査の結果は？

Qちゃん 先生、相馬市では空間放射線量の調査を毎年行っているよね。僕も市役所の方が機械を持って測定しているのを見たことあるよ。今年度の結果はどうだったの？

つぼくら先生 相馬市は1キロメートルメッシュ調査を実施していて、令和4年度の調査結果は、土の上での平均値0.09μSv/h、舗装の上での平均値0.07μSv/hだったよ。

主要都市の空間線量率の測定結果は、東京が0.037μSv/h、ニューヨークが0.046μSv/h、ロンドンが0.108μSv/hだから、海外や国内の都市と比べても変わらないくらいになったね。

●相馬市のメッシュ調査結果の推移



Qちゃん 測定が始まった時と比べると随分低くなったね。でも左下のグラフには「計算上の減り方」って書いてあるけど、どうして実際の結果と差があるの？

つぼくら先生 この差は、放射性物質が半減期に従って自然に減っていくことに加えて、雨などの環境の影響で減ったことが原因なんだ。原発事故で放出された放射性物質は主にセシウム134、セシウム137があるんだ。そのうちセシウム134の半減期は2.1年で、半減期を何回も迎えているから空間放射線量が事故当時と比べて減っているよ。

そこに風雨の影響も加わって、結果的に計算上の減り方よりも速いペースで減っているんだ。一方セシウム137の半減期は約30年だから、減るのにまだまだ時間がかかるね。ただ、セシウム137はセシウム134と比べて放射線の力は強くないから、空間放射線量への影響も低いんだよ。

Qちゃん 先生、ありがとう。このまま空間放射線量が減り続けてくれたら嬉しいな。

出典:放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料「令和3年度版」(ニューヨークは2019年1月18日、ロンドンでは2018年1月24日時点の数値)

今回Qちゃんが分かったこと

- ▽メッシュ調査の結果、相馬市の空間放射線量が海外や国内の都市と変わらないくらいに減っていること。
- ▽市内の空間放射線量は、放射性物質の半減期を迎えたことによる減少と風雨などの自然環境の影響で減っていること。

調査結果はこちらから



●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)

ホームページはこちら



◎これまでの食品の検査結果 (市ホームページ)

ホームページはこちら



※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。

- 6月分 ▽測定件数 4件
- ▽基準値を超えた食品 0件
- 相馬市で出荷制限などを受けている食品(7月1日現在)
- ▽クサソテツ(コゴミ)
- ▽タケノコ▽フキノトウ(野生)
- ▽ゼンマイ▽タラノメ(野生)
- ▽原木シイタケ(露地)
- ▽原木ナメコ(露地)
- ▽キノコ(野生)
- ▽コシアブラ▽ウド(野生)
- ▽クロソイ

自家消費野菜などの放射性物質測定結果